



8月 うさぎぐみだより

常磐保育園 2022年7月29日

3歳児担任 木村由利香 佐藤佑果

7月はプールでワニ歩きや、顔つけに挑戦してきました。苦手な子も友だちの姿に良い刺激を受け、自分のペースで挑戦する姿が見られました。できる・できないといった結果ではなく、こうした過程の姿を大切にしていきたいと思います。やってみようとする姿を大いに認め、自信をつけるとともに、友だちを応援する姿へと広げ、運動会に向けて、友だちと一緒に頑張る姿へと繋げていきたいと思っています。8月はフープをくぐったり、基石拾いをしたり、保育士と手を繋いでのバタ足・ビート板を使つてのバタ足にも少しずつ挑戦し、次年度への意欲や期待を高めていきたいと思っています。



♥なつまつりたのしかったね♥

なつまつりごっこをととても楽しみにしていた子どもたち。当日の朝、盆踊りの曲が聞こえると、「お祭り始まった〜?」「早く行こうよ〜」と、意欲満々でした。

お兄さん・お姉さんに優しく教えてもらいながら、3つのコーナーをまわりました。初めは緊張の表情もありましたが、段々と笑顔も増えて、存分に楽しむことができました。

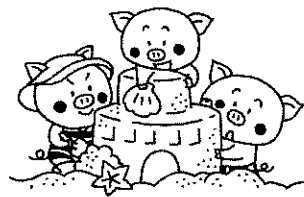
コロナ禍前は、こうした異年齢児での関わりが普段からたくさんありましたが、最近は関わりが少なくなってしまうています。コロナの状況をみながら、また少しずつ異年齢児活動や、普段の関わりを増やし、子ども同士の育ち合いができる環境をつくっていききたいと思っています。

♥ドキドキのおぼけやしき♥

当日の朝まで、おぼけやしきがこわくて、入らないという子もいましたが、“電気がついていて明るいおぼけやしき”“おぼけやしきの中でボーリングやボールプールがある”“頑張ったらプレゼントももらえる”“お友だちや先生、みんなと一緒に入る”ことを伝えると、安心したようで、当日登園したお友だちみんなが挑戦することができました♪「りすさんの時は泣いちゃったけど、うさぎさんは泣かなかったよ!」「前は入らなかったけど、今日は入れた!!」「ママに僕が頑張ったこと言っといてね」等、自信がついた様子の子もたちでした。非日常の経験の中で、子どもたちの心がまた一つ大きく成長しましたね♡

◆8月のわらい◆

- ・夏季の健康状態に留意し、健康で安全な生活ができる。
- ・保育者と仲間と、夏ならではの遊びを楽しみながらやってみることができる。
- ・生活や遊びの中で、自分の思いを保育者に伝えることができる。



8月は、ご家族で過ごしたり、出掛けたりする機会も多いかと思ひます。コロナ禍でこれまでの生活とは違い、不慣れな思いをすることも多いかと思ひますが、こんな世の中だからこそ、家族での絆を深め、健康・安全には十分留意して、ゆっくりのんびり楽しい休日をお過ごしください。